

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成30年1月25日 (2018.1.25)

【公表番号】特表2017-517160(P2017-517160A)
 【公表日】平成29年6月22日 (2017.6.22)
 【年通号数】公開・登録公報2017-023
 【出願番号】特願2016-553648(P2016-553648)
 【国際特許分類】

H 0 4 W 92/18 (2009.01)

H 0 4 L 1/00 (2006.01)

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

【 F I 】

H 0 4 W 92/18

H 0 4 L 1/00 A

H 0 4 W 72/04 1 3 6

【手続補正書】

【提出日】平成29年12月7日 (2017.12.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基地局によって実行される方法であって、

スケジュールリング割り当ての送信用の無線リソースと、第二端末装置との端末装置間 (D 2 D) 通信に第一端末装置が使用する、前記スケジュールリング割り当てによりスケジュールされる D 2 D データの送信用の無線リソースと、を指定するダウンリンク制御情報 (D C I) を、物理ダウンリンク制御チャネル (P D C C H) 上で送信し、

前記第一端末装置の D 2 D 無線ネットワーク一時アイデンティティ (R N T I) を使って前記 D C I の巡回冗長検査 (C R C) 部分を符号化する、
 方法。

【請求項 2】

D 2 D グラントに使用される D C I フォーマットの長さが、広域ネットワーク (W A N) 通信に対する D C I フォーマット 0 と同じ長さである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記第一端末装置に、D 2 D 通信に利用可能なリソースグリッドのリソースブロックの数を指定する D 2 D 帯域幅パラメータ $N^{D 2 D}_{R B}$ を提供する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記第一端末装置に、スケジュールリング割り当てリソースプールの開始部分を特定するリソースオフセット値を指定するスケジュールリング割り当てリソースパラメータを提供する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

端末装置によって実行される方法であって、

スケジュールリング割り当ての送信用の無線リソースと、前記スケジュールリング割り当てによってスケジュールされる端末装置間 (D 2 D) データの送信用の無線リソースと、を指定するダウンリンク制御情報 (D C I) を、物理ダウンリンク制御チャネル (P D C C H) 上で受信し、

前記スケジューリング割り当ての送信用の前記指定された無線リソースを用いて、第二端末装置への前記スケジューリング割り当ての送信を実行し、

前記D2Dデータの送信用の前記指定された無線リソースを用いて、前記第二端末装置への前記D2Dデータの送信を実行する、
方法。

【請求項6】

前記DCIの巡回冗長検査(CRC)部分から、当該端末装置のD2D無線ネットワーク時アイデンティティ(RNTI)を復号する、請求項5に記載の方法。

【請求項7】

D2Dグラントに使用されるDCIフォーマットの長さが、広域ネットワーク(WAN)通信に対するDCIフォーマット0と同じ長さである、請求項5に記載の方法。

【請求項8】

D2D通信に利用可能なリソースグリッドのリソースブロックの数を指定するD2D帯域幅パラメータ N^{D2D}_{RB} を取得する、請求項5に記載の方法。

【請求項9】

スケジューリング割り当てリソースプールの開始部分を特定するリソースオフセット値を指定するスケジューリング割り当てリソースパラメータを取得する、請求項5に記載の方法。

【請求項10】

スケジューリング割り当ての送信用の無線リソースと、第二端末装置との端末装置間(D2D)通信に第一端末装置が使用する、前記スケジューリング割り当てによりスケジュールされるD2Dデータの送信用の無線リソースと、を指定するダウンリンク制御情報(DCI)を生成する制御部と、

前記DCIを、物理ダウンリンク制御チャネル(PDCCH)上で前記第一端末装置に送信する送信部と、
を含み、

前記送信部は、前記第一端末装置のD2D無線ネットワーク時アイデンティティ(RNTI)を使って前記DCIの巡回冗長検査(CRC)部分を符号化する、基地局。

【請求項11】

D2Dグラントに使用されるDCIフォーマットの長さが、広域ネットワーク(WAN)通信に対するDCIフォーマット0と同じ長さである、請求項10に記載の基地局。

【請求項12】

前記制御部は、前記第一端末装置に、D2D通信に利用可能なリソースグリッドのリソースブロックの数を指定するD2D帯域幅パラメータ N^{D2D}_{RB} を提供する、請求項10に記載の基地局。

【請求項13】

前記制御部は、前記第一端末装置に、スケジューリング割り当てリソースプールの開始部分を特定するリソースオフセット値を指定するスケジューリング割り当てリソースパラメータを提供する、請求項10に記載の基地局。

【請求項14】

無線インターフェースを介して物理ダウンリンク制御チャネル(PDCCH)を受信するレシーバを含む端末装置であって、

スケジューリング割り当ての送信用の無線リソースと、第二端末装置との端末装置間(D2D)通信に前記端末装置が使用する、前記スケジューリング割り当てによりスケジュールされるD2Dデータの送信用の無線リソースと、を指定する、前記物理ダウンリンク制御チャネル(PDCCH)上のダウンリンク制御情報(DCI)から得る制御部と、

前記スケジューリング割り当ての送信用の前記指定された無線リソースを用いた、第二端末装置への前記スケジューリング割り当ての送信と、前記D2Dデータの送信用の前記指定された無線リソースを用いた、前記第二端末装置への前記D2Dデータの送信と、を実行する送信部と、

をさらに含む、
端末装置。

【請求項 15】

前記制御部は、前記端末装置の D2D 無線ネットワーク一時アイデンティティ (RNTI) を使って、符号化された前記 DCI の巡回冗長検査 (CRC) 部分を判定する、請求項 14 に記載の端末装置。

【請求項 16】

D2D グラントに使用される DCI フォーマットの長さが、広域ネットワーク (WAN) 通信に対する DCI フォーマット 0 と同じ長さである、請求項 14 に記載の端末装置。

【請求項 17】

前記制御部は、D2D 通信に利用可能なリソースグリッドのリソースブロックの数を指定する D2D 帯域幅パラメータ N^{D2D}_{RB} を備える、請求項 14 に記載の端末装置。

【請求項 18】

前記制御部は、スケジューリング割り当てリソースプールの開始部分を特定するリソースオフセット値を指定するスケジューリング割り当てリソースパラメータを備える、請求項 14 に記載の端末装置。

【請求項 19】

無線インターフェースを介して物理ダウンリンク制御チャネル (PDCCH) を受信するステップを含む、端末装置によって実行される方法であって、

スケジューリング割り当ての送信用の無線リソースと、第二端末装置との端末装置間 (D2D) 通信に前記端末装置が使用する、前記スケジューリング割り当てによりスケジュールされる D2D データの送信用の無線リソースと、を指定する、前記物理ダウンリンク制御チャネル (PDCCH) 上のダウンリンク制御情報 (DCI) から取り、

前記スケジューリング割り当ての送信用の前記指定された無線リソースを用いて、第二端末装置への前記スケジューリング割り当ての送信を実行し、

前記 D2D データの送信用の前記指定された無線リソースを用いて、前記第二端末装置への前記 D2D データの送信を実行する、

方法。

【請求項 20】

前記端末装置の D2D 無線ネットワーク一時アイデンティティ (RNTI) を使って、符号化された前記 DCI の巡回冗長検査 (CRC) 部分を判定する、請求項 19 に記載の方法。

【請求項 21】

D2D グラントに使用される DCI フォーマットの長さが、広域ネットワーク (WAN) 通信に対する DCI フォーマット 0 と同じ長さである、請求項 19 に記載の方法。